

## 北川ひろみ 先生

### 先生のプロフィール

**【出身地】**

名古屋市

**【専攻】**

法学

**【近年（2～3年）の担当科目】**

法曹倫理、ロイヤリング、法務エクスターン  
シップ、模擬裁判、司法特修

**【最近の趣味】**

観葉植物、スポーツ観戦



**【先生が法曹を目指すことになったきっかけを教えてください】**

文系の仕事で、女性であっても長く働くことのできる仕事として資格の獲得を目指した結果です。

**【先生が法曹になって良かったと思うことを教えてください】**

いろいろな社会と幅広くかかわることができること、女性であっても長く働くことができること、法の支配の担い手でいられることは、良かったと思います。

**【学生時代に力を入れたこと、熱中したことを教えてください】**

本をよく読みました。

**【学生のうちに経験しておくべきことを教えてください】**

好奇心旺盛に、いろいろな社会をのぞいてみること、いろいろな人と話をすること、本を読むことは、よいことと思います。

**【学生の皆さんに一言お願いします】**

上にも書きましたが、好奇心旺盛に、何でも見てみよう、経験してみよう、の精神で、いろいろなことにトライするうちに、自分のことが少しわかってくるように思います。また、多くの人と話をすることで、世の中にはいろいろな価値観があること、そこから社会の進歩や問題解決が生まれるということ、感じ取ることができると思います。

## 久志本修一 先生

### 先生のプロフィール

【出身地】

愛知県

【専攻】

民事法（弁護士）

【近年（2～3年）の担当科目】

司法特修

【最近の趣味】

読書、温泉巡り



【先生が法曹を目指すことになったきっかけを教えてください】

特に動機付けとなるようなエピソードや原体験はありませんが、中学卒業の頃には、漠然と弁護士になりたいと思っていました。

【先生が思う法曹の魅力を教えてください】

弁護士は、人から頼られ、感謝されて、お金までもらえ、社会的地位もそこそこあります。基本的には、正しいと思うことを信じて仕事を行えばよく、不正義や違法なことからは距離をおいて、信じる正義を貫いて正論をいえる仕事であることが魅力です。

【学生時代に力を入れたこと、熱中したことを教えてください】

テニスサークルの活動とアルバイトです。アルバイトは塾講師・家庭教師で「受験請負人」と称される程度に実績をあげてました。

【学生のうちに経験すべきこと、つけておくべき力を教えてください】

学生時代がもっとも時間があります。ですから、何にでもチャレンジして、できるだけ多くの多くの体験をするとよいと思います。直接体験できなくても、読書（様々なジャンルの書籍を読むこと）や様々な人と出会って、知見を広げ、多様な価値観を知ることが大切だと思います。

【学生に向けて一言お願いします】

社会人になると様々な制約が生じてきます。あらゆる面で制約の少ない学生時代に多くを経験することは、社会人になった後には、学生時代の経験が得難い経験として、生きてきます。失敗をおそれず、何事にもチャレンジして欲しいと思います。